

韓国で豚コレラが発生!

概要】

発生日：11月27日（水） 場所：韓国 慶尚南道 泗川市の育成農場

状況：豚300頭のうち4頭で発生し、全頭殺処分等の防疫措置が取られた。
（本病の詳細については裏面も参照ください）

韓国では全国的に豚コレラワクチンが使用されていますが、今回4年ぶりに本病が発生したことで他の地域へもウイルスが拡散することが懸念されています。

最近では畜産農家の防疫意識が弱まり、予防接種などの防疫活動が疎かになっているようです。そのため韓国政府は、様々な家畜疾病が追加発生するおそれがあるとして、畜産関係者に防疫措置の徹底を緊急指示しました。

年末年始で人・物の移動が盛んになり、我が国への侵入リスクも高まります。皆さまには改めて以下の防疫対策の徹底をお願いします!!

「飼養衛生管理基準」の遵守徹底

○飼養豚の健康観察

異常豚の早期発見・早期通報

○野生動物の侵入防止

○消毒の徹底

消毒槽、農場専用の衣服・長靴の使用

○部外者の出入り制限

○入退場する人や車両についての記録



異常豚を見つけた時は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください。

中濃家畜保健衛生所

〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井2610-1

TEL (0574)25-3111 FAX (0574)27-3092

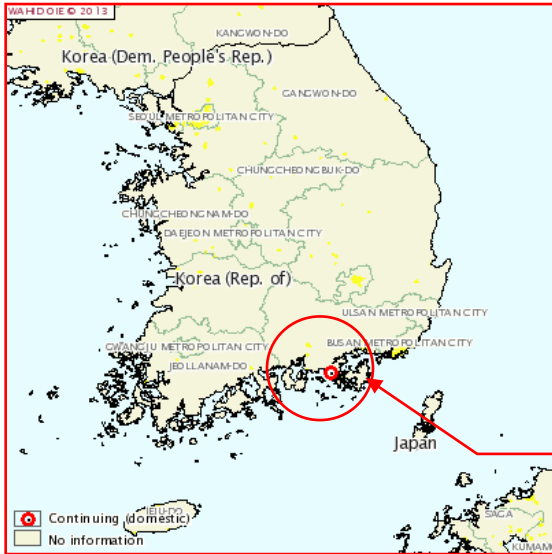
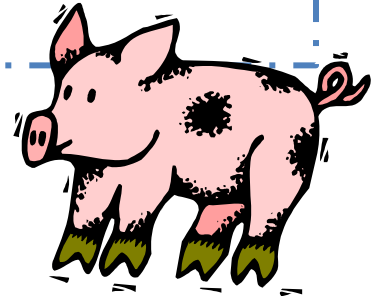
E-mail : c24506@pref.gifu.lg.jp

豚コレラ

豚コレラウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病。致死率が高く、感染豚や汚染物品等との接触等により感染拡大する。

我が国では本病の発生はないが、ロシア及びその周辺諸国では発生が確認されているため、海外からの侵入に対する警戒を怠ることなく、本病の発生予防に努めることが重要です。

韓国における発生は2009年の2件以来です。



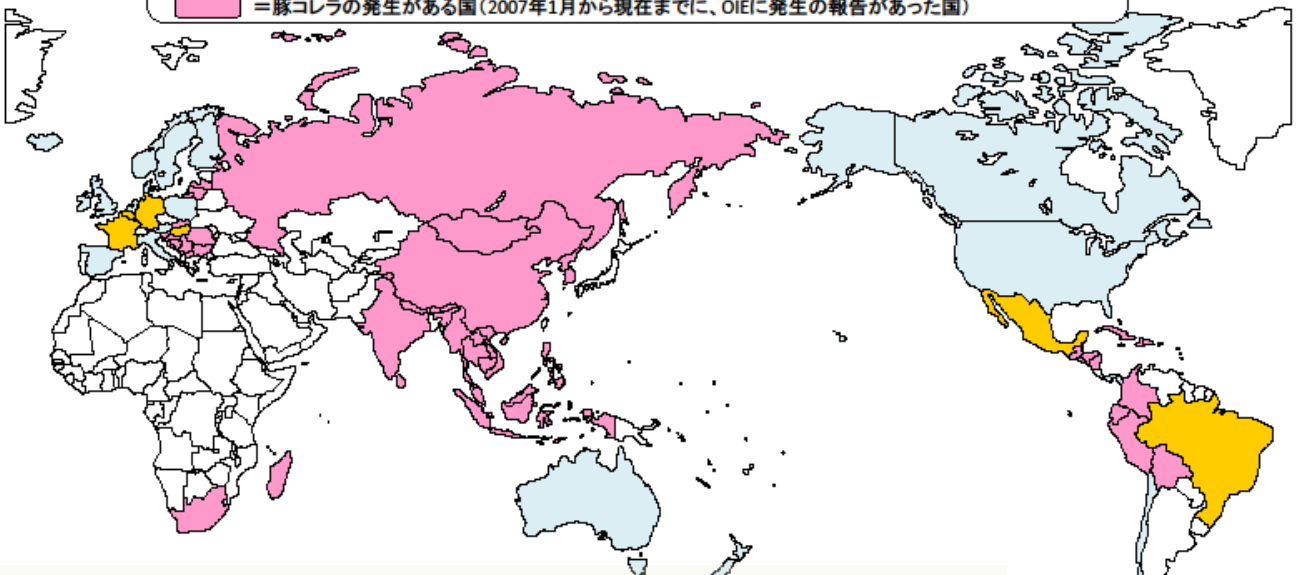
(今回の発生場所)

韓国 慶尚南道
泗川市

豚コレラの発生状況

2013年5月24日現在

- = 豚コレラの発生がなく、我が国が生鮮豚肉の輸入を認めている国及び地域
(フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ポーランド、デンマーク、イタリア(サルジニア島を除く)、サンマリノ、オランダ、オーストリア、英国(グレートブリテン及び北アイルランド)、スペイン、アイルランド、アイスランド、カナダ、米国(アメリカ大陸の部分、ハワイ諸島及びグアム島)、北マリアナ諸島、パナマ、チリ、オーストラリア、ニュージーランド、バハマ、ニューカレドニア)
- = 豚コレラの発生があるが、我が国が清浄性を認定した地域からのみ生鮮豚肉の輸入を認めている国
(ドイツ、ハンガリー、ベルギー、フランス、メキシコ、ブラジル)
- = 豚コレラの発生がある国(2007年1月から現在までに、OIEに発生の報告があった国)



※出典: OIE 他

※変更点: 「豚コレラの発生があるが、我が国が清浄性を認定した地域からのみ生鮮豚肉の輸入を認めている国」にブラジル(サンタ・カタリーナ州に限る)を追加